

おはようございます。

あなたの Shortman です。

昨日 12 月 1 日の NY 市場:

ダウ平均 終値 17,888.35ドル 前日比 168.43ドル高(0.95%高)

NASDAQ 終値 5156.31pt 前日比 47.64pt 高(0.93%高)

SP500 終値 2102.63pt 前日比 22.22pt 安(1.07%高)

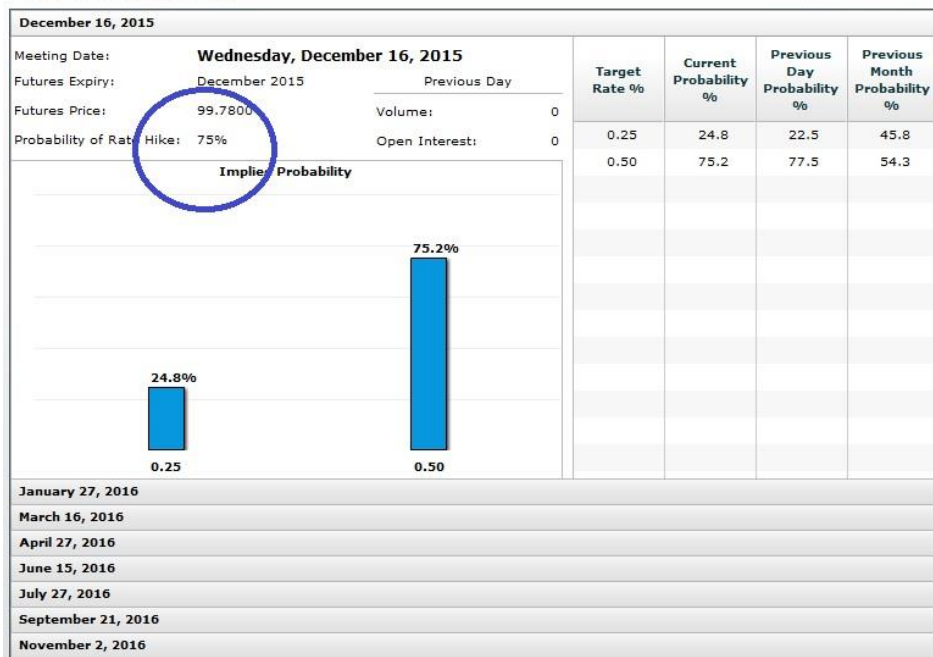
1 日の NY 株式市場は反発。ヘルスケア関連株が主導した。また 11 月の新車販売台数が好調だった自動車株も買われた。正直、株式市場は悪い経済指標を完全に無視した形。昨日公表された米供給管理協会 (ISM) が発表した 11 月の [米 ISM 製造業総合景況指数](#) は 48.6 と市場予想の 50.3 を下回った。また、前月の 50.1 から低下し、好不況の判断となる 50 を下回ったが、2009 年 6 月以来の低水準である。

NY 為替市場は株式市場には連動せず、11 月の [米 ISM 製造業総合景況指数](#) に素直に反応し、ドル円は 123.20 円から 122.77 円まで下落し、122.87 円で引けた。ECB の追加緩和観測 (1 兆ユーロ規模の債券買入プログラムの拡大か?) は強いもののドルが売られて、ユーロ・ドルは、1.0597ドルから 1.0637ドルへ上昇して、1.0633ドルで引けた。

弱い 11 月の [米 ISM 製造業総合景況指数](#) を受けて、米先物取引所大手 CME グループが公表している「[FED WATCH](#)」によると、市場予想による米 FRB による利上げ観測は、市場予想で 75%まで若干低下した。

CME Group FedWatch

Last Update 12/01/2015



出所: [CME, FED WATCH](#)

Shortman's View:

ここは大事なところですが、年内利上げが8割近い市場参加者が予想していますが、私は意外に利上げは無いかなと思っております。

米FRBによる量的緩和(QE)1(2008年11月から2010年6月)が最初に実施されて、1兆7,250億ドル規模の債券購入が行われ、その後、QE2(2010年11月~2011年6月)で6,000億ドル、QE3(2012年9月~)毎月400億ドル規模で継続されています。実は[米ISM製造業総合景況指数](#)がこの水準まで低下したのは、2008年の初旬でした。この年バーナンキ米FRB前議長は量的緩和第一弾(QE1)をQE2と連続して実施し、次に50を下回ったのは2009年6月から8月にかけてで、同年9月にはQE3が開始された。

11 月 ISM 製造業(カッコ内は 10 月):

景気指数: 48.6(50.1)

新規受注: 48.9(52.9)

生産: 49.2(52.9)

雇用: 51.3(47.6)

入荷遅延: 50.6(50.4)

在庫: 43.0(46.5)

顧客在庫: 50.5(51.0)

仕入価格: 35.5(39.0)

受注残: 43.0(42.5)

輸出: 47.5(47.5)

輸入: 49.0(47.0)

米 FRB の量的緩和(QE)は、「雇用の最大化」と「物価の安定」という2つの目標を達成するために、積極的に金融政策(に見せかけた実は財政政策)を行う中央銀行の姿勢を市場に示すことですが、正直なところ「雇用の最大化」は正直失業者数の実態がわからないけどまだまだ足りない。また、「物価の安定」はインフレどころからデフレのままなので、個人的には利上げに対して懐疑的。仮にこのタイミングで米FRBのよる利上げが実施された場合、世界経済は深刻な景気後退に陥ることにあるであろう(歴史に名を残す金融政策の失敗になるかも知れないと個人的には期待している)。

チャート(定点観測):

ダウ



ダウとドル円は再び乖離へ。株が正しい？それとも為替が正しい？正解は今週末の雇用統計後に！

恐怖指数 (VIX)



株価は上昇し、恐怖指数は低回している。もう少し株式市場に夢を見させてから、下げてくるかな。

ドル円



為替はフローなので、経済の先行きを読んでいると面白いかも知れない。とすると・・・(^_-)

米 2 年債利回り



この乖離を埋める方向で、FRBによる年内利上げ観測が強い中で急激に利回りが低下するかどうか。←あるとすると個人的な見解を参照。

金価格



まあ、先週末の時点で上げるのはチャートの明らかなですが、これがリスク回避の先回りだとしたら？

果たして金曜日の雇用統計がどうなるのか・・・これ次第ですね。

本日の主な経済指標：

	時刻	経済指標	前回	予想	結果
12月2日(水)	9:30	(豪) 7-9月期GDP(前期比)	0.20%	0.80%	--
		(豪) 7-9月期GDP(前年比)	2.00%	2.40%	--
	18:30	(英) 11月建設業PMI	58.8	58.5	--
	19:00	(ユーロ圏) 11月消費者物価指数(HICP)・速報(前年比)	0.10%	0.20%	--
	19:00	(ユーロ圏) 10月生産者物価指数(前年比)	-3.10%	-3.20%	--
	22:15	(米) 11月ADP全国雇用者数	+18.2万人	+19.0万人	--
	22:30	(米) 7-9月期非農業部門労働生産性・確報(前期比年率)	1.60%	2.20%	--
	22:30	(米) 7-9月期単位労働コスト・確報(前期比年率)	1.40%	1.00%	--
	0:00	(加) 加中銀政策金利発表	0.50%	--	--
	4:00	(米) 米地区連銀経済報告(ベージュブック)			

本日のピボット：

Pivot(ドル円)		Pivot(ユーロドル)	
H	123.853	H	1.07338
R2	123.561	R2	1.06854
R1	123.213	R1	1.06596
P	122.928	P	1.06112
S1	122.580	S1	1.05854
S2	122.295	S2	1.05370
L	121.947	L	1.05112

今夜は昨日の弱い11月の[米ISM 製造業総合景況指数](#)の数字を受けて、今週末の米雇用統計の前哨戦となる米ADP雇用者数が公表されます。この数字に相場は左右されるかなと思います。

Good Duck!

Shortman

注意: 投資は自己責任です！